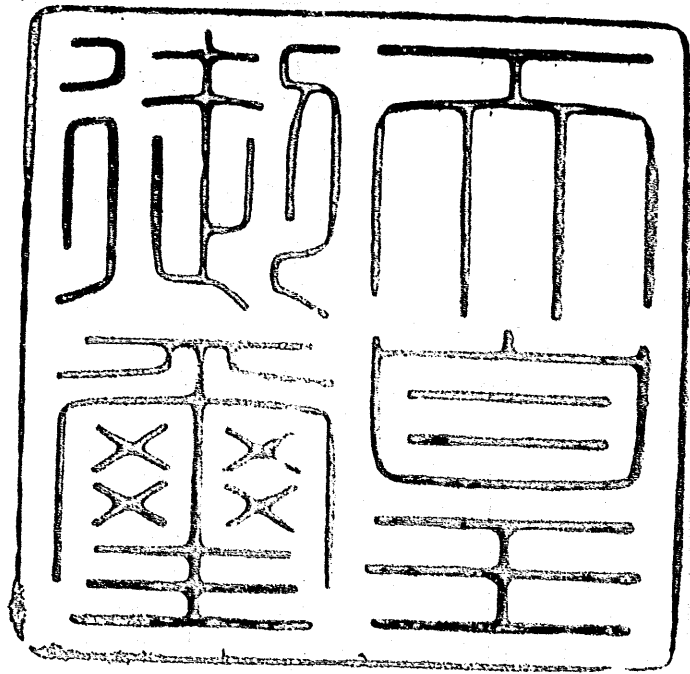


條約第四號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經タル韓國併合ニ
關スル條約ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

睦仁



明治四十三年八月二十九日

内閣總理大臣侯爵桂 太郎
外務大臣伯爵 小村 壽 吉 郎

條約第四號

日本國皇帝陛下及韓國國皇帝陛下ハ兩國
間ノ特殊ニシテ親密ナル關係ヲ顧ヒ相
互ノ幸福ヲ増進シ東洋ノ平和ヲ永久ニ
確保セムコトヲ欲シ此ノ目的ヲ達セム
カ為ニハ韓國ヲ日本帝國ニ併合スルニ
如カサルコトヲ確信シ茲ニ兩國間ニ併
合條約ヲ締結スルコトニ決シ之カ為日
本國皇帝陛下ハ統監子爵寺内正毅ヲ韓
國皇帝陛下ハ内閣總理大臣李完用ヲ各

具ノ全權委員ニ任命セリ因テ右全權委員ハ會同協議ノ上左ノ諸條ヲ協定セリ

第一條

韓國皇帝陛下ハ韓國全部ニ關スル一切ノ統治權ヲ完全且永久ニ日本國皇帝陛下ニ讓與ス

第二條

日本國皇帝陛下ハ前條ニ掲ケタル讓與ヲ受諾シ且全然韓國ヲ日本帝國ニ併合スルコトヲ承諾ス

第三條

日本國皇帝陛下ハ韓國皇帝陛下、太皇帝陛下、皇太子殿下、竝其ノ后妃及後裔ヲシテ各具ノ地位ニ應シ相當ナル尊稱威嚴及名譽ヲ享有セシメ且之ヲ保持スルニ十分ナル歳費ヲ供給スヘキコトヲ約ス

第四條

日本國皇帝陛下ハ前條以外ノ韓國皇族及其ノ後裔ニ對シ各相當ノ名譽及待遇ヲ享有セシメ且之ヲ維持スルニ必要ナ

ル資金ヲ供與スルコトヲ約ス

第五條

日本國皇帝陛下ハ勲功アル韓人ニシテ特ニ表彰ヲ為スヲ適當ナリト認メタル者ニ對シ榮爵ヲ授ケ且恩金ヲ與フヘシ

第六條

日本國政府ハ前記併合ノ結果トシテ全然韓國ノ施政ヲ擔任シ同地ニ施行スル法規ヲ遵守スル韓人ノ身體及財産ニ對シ十分ナル保護ヲ與ヘ且其ノ福利ノ増

進ヲ圖ルヘシ

第七條

日本國政府ハ誠意忠實ニ新制度ヲ尊重スル韓人ニシテ相當ノ資格アル者ヲ事情ノ許ス限リ韓國ニ於ケル帝國官吏ニ登用スヘシ

第八條

本條約ハ日本國皇帝陛下及韓國皇帝陛下ノ裁可ヲ經タルモノニシテ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右證據トシテ兩全權委員ハ本條約ニ記

名調印スルモノナリ
明治四十三年八月二十二日

統監子爵寺内正毅

隆熙四年八月二十二日

内閣總理大臣李完用